

OUP-A DSAEK装置とACPを組み合わせて、 グラフト作製の精度を高めることができます。

試験群 (それぞれn=6)	圧力 調整法	人工前房内 圧力 (mmHg)	チューブ のクランプ	カット方法	使用ヘッド サイズ	切除片 (キャップ) 厚平均 (μm)	SD	同キャップ内 厚さ (4か所) の差の平均 (μm)	SD	カット中 人工前房装置 内圧変化 (mmHg)
①	加圧バッグ	100	あり	CBm*	350	375.4	98.9	115.1	53.2	37.0
②	加圧バッグ	200	あり	CBm	350	393.3	70.8	56.4	45.1	53.5
③	ACP	200	なし	CBm	350	393.4	58.4	53.4	19.6	5.4
④	ACP	200	なし	OUP-A	350	395.5	24.6	38.8	22.3	2.3

データ提供: 東京歯科大学 市川総合病院 角膜センター・アイバンク (2016年11月)

OUP-A DSAEK装置及び周辺器具・機器



#19175 OUP-A ハンドピース
(プラズマ滅菌可能)



#19184/XXX OU LC ヘッド
5個入
(シングルユース)
XXX: 110-550 (全11サイズ)



ACP 本体



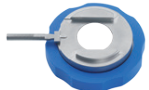
#19173
人工前房装置用リング
(滅菌可能)



#19162
ユニバーサル
キャップ
(滅菌可能)



#19161
人工前房装置
(滅菌可能)



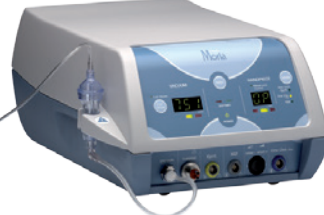
#19187
ONE 人工前房装置用リング
(シングルユース)



#19192
ACPチューブセット
(人工前房装置は含まれません)



#19182
ONE 人工前房装置
(シングルユース)



Evolution 3E
コントロールユニット

医療機器認証番号：222AFBZX00087000
医療機器届出番号：13B1X00229000046

Corneal Transplant

DSAEK手術を
さらにその一歩先へ...

One Use-Plus
Automated DSAEK



ACP
人工前房装置
圧力調整システム



DSAEK手術用移植用グラフト作製に
あたっての正確性と再現性の確保

Moria

株式会社 モリア ジャパン
〒101-0041
東京都千代田区神田須田町1-12-3 アルカディアビル6F
TEL:03-6260-8309/FAX:03-6260-8310
<https://www.moriajapan.com>

Manufactured by
Moria S.A.
www.moria-surgical.com

M2017002-4

Moria

One Use-Plus

OUP-A DSAEK装置

OUP-A DSAEK※ 装置について

- 電動モーターによる直進カットのため、施術者の経験及びやり方に結果が左右されません。
- 110 μ m～550 μ mの11種類のサイズのヘッドがあるため、ドナー角膜の厚さや、目的とする移植用グラフトの厚さに応じて適切なサイズを選択することができます。
- 400 μ m以上のサイズのヘッドを使用することで、シングルカットでのUT-DSAEK*が可能になりました。
- 回転式等手動のマイクロケラトームと異なり、窒素ガスを必要としません。
- ハンドピース本体はプラズマ滅菌が可能です。

※駆動にはモリアのEvolution 3E コントロールユニットが必要です。
*UT-DSAEK: Ultra Thin-DSAEK



OUP-A DSAEK装置によるドナー角膜グラフト作製 ヘッドサイズによるキャップ(切除片)厚の目安

ドナー角膜厚さ (中心部、 μm)		400	450	500	550	600	650	700	750
OU LC ヘッド サイズ	550							550	(575)
	500					500	(525)		
	450				450	(475)			
	400			400	(425)				
	350		350	(375)					
	300	300	(325)						
誤差範囲		$\pm 25\mu\text{m}$							

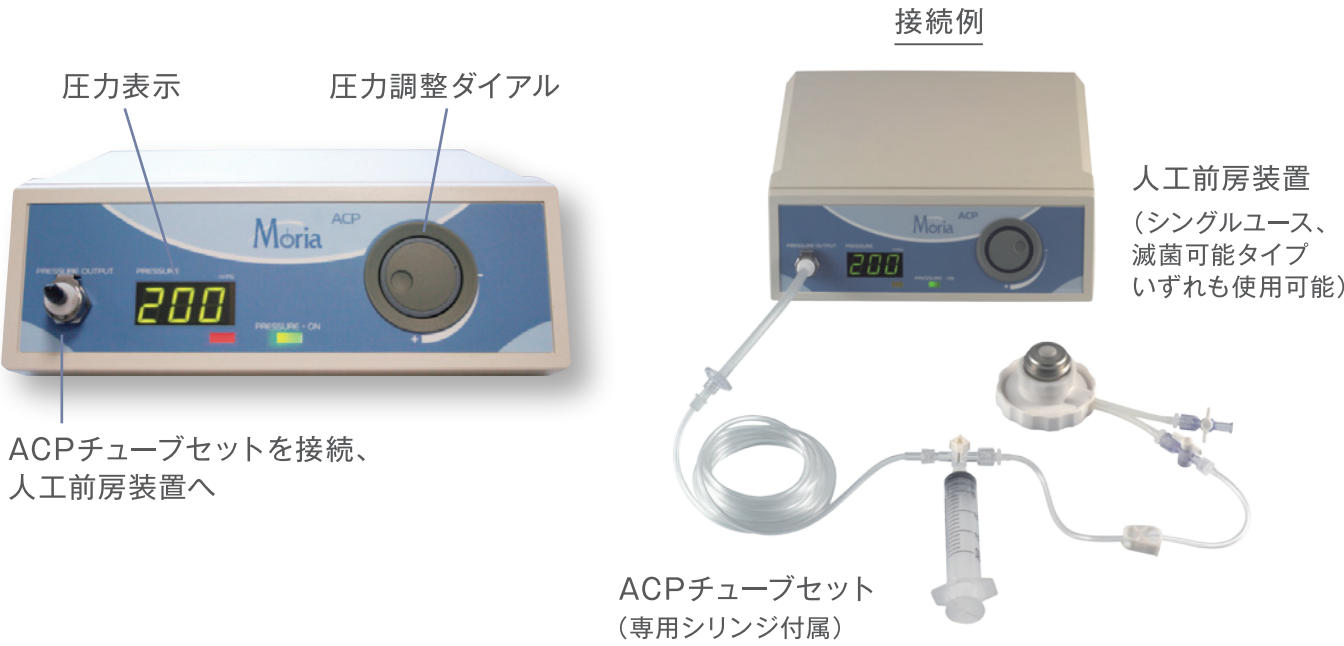
データ提供: Fondazione Banca Degli Occhi Del Vento-Onlus (2016年10月、イタリア)

・ OUP-A DSAEK装置をEvolution 3EのSpeed 2で駆動 ・ 人工前房装置内圧をACPで200mmHgに調整
※上記表はあくまでも目安であり、結果を保証するものではありません。

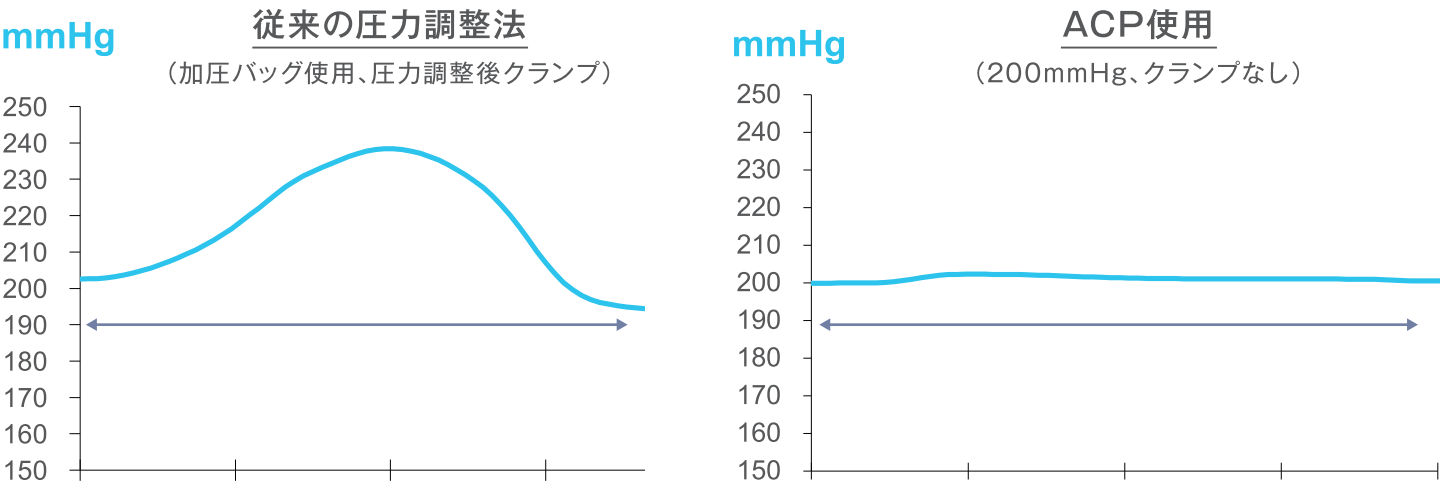
人工前房装置 圧力調整システム ACPについて

- 従来は点滴瓶や加圧バッグ、シリンジ等で調整していた人工前房装置内の圧力を、意図どおりに正確に調整できる装置です。
- 人工前房装置にACPチューブセットを接続することで、ACP本体の圧力調整機能を利用して、人工前房装置内のカット中の圧力を一定に保つことができます。*
- 人工前房装置を使用する用途全てに使用可能です。

※圧力調整後、人工前房装置に接続したチューブをクランプすると、マイクロケラトームでカットしている間、大幅に人工前房内圧が上昇することが知られています。(下図参照)



(参考) ドナー角膜カット時の人工前房装置の内圧変化



データ提供: 東京歯科大学 市川総合病院 角膜センター・アイバンク (2016年11月)